

# HOT NEWS

## 雲仙復興事務所

平成25年7月9日

### 雲仙普賢岳噴火災害は私たちが語り継ぐ！ —火砕流で被災した小学校の現場見学会実施—

発信元

雲仙復興事務所  
調査課 峰松 知裕

平成25年6月11日、火砕流(平成3年9月15日)により校舎が被災した南島原市立大野木場小学校の5年生児童16名が、噴火災害・砂防事業の現場見学会に訪れました。

児童らは、はじめに内閣府火山防災エキスパートの杉本氏の案内で、死者43名の火砕流災害のあった“定点”や農業研修所跡”などで災害遺構を見学し、今自分たちがいる場所でどのような災害があったのか学びました。

その後、大野木場監視所にて事務所職員より砂防事業が果たす役割等を学び、無人化施工工事現場で実際に重機を遠隔操作し、無人化施工技術が工事従事者の安全に貢献していることを肌で感じました。

大野木場小では、今回の現地見学会で学んだ成果を毎年9月中旬に開催される「メモリアルデー集会(全校集会)」において発表を行う等、学校をあげて噴火災害を語り継ぐ活動を続けており、雲仙復興事務所もその活動を支援していきます。



災害遺構の見学

砂防施設によって、土石流から下流の安全を守っています。



職員による事業説明

ここからなら安全だ！



この2機を実際に操作しました！

ほんとに人が乗っていない！！



重機の中が“無人”であることを伝える職員



火砕流により被災した大野木場小学校旧校舎



平成新山を背景に集合写真